

HSK ネット (汉语水平考试 Hanyu Shuiping Kaoshi (IBT)) 試験について

—中国語能力検定試験

中原 裕貴

Chinese Proficiency Test

Yutaka Nakahara

前 書

HSK ネット試験とは

HSK は中国語能力検定試験 (汉语水平考试 Hanyu Shuiping Kaoshi) の略称である。中国国家漢語水平考試委員会が実施し、中国語を母国語としない者、中国語を母語としない華僑 (中国国内少数民族を含む) の中国語能力を検定するための国レベルの試験であり、受験生の生活・勉強や仕事での中国語を使用するコミュニケーション力を中心的に考査するものである。

HSK 試験は毎年中国国内外で定期的に実施され、試験成績に関して、中国「国家漢弁」からそのレベルに対応する《新汉语水平考試成績報告書》が取得できる。

ここでは HSK ネット試験の歴史、現状、HSK ネット試験の級と級別の試験対象、検定内容、試験システム及び模擬試験システムについて詳しく述べ、最後に中国語検定試験と HSK ネット試験の相違について説明する。

一. HSK 試験の歴史と現状

HSK は 1984 年に北京語言学院 (今の北京語言大学) で開発され、1986 年に初めて中国語能力検定試験システムが中国国内で稼働し、1989 年正式に中国語能力検定試験センターが設立された。1991 年、シンガポール、オーストラリア、日本等で試験が実施され、1992 年に国レベルの検定試験に認められている。その時期から、中国教育部 (中国の文部科学省) は、国家漢弁 (中国国家汉语国际推广领导小组办公室の略称) を設立して、当機構が直接に HSK を管轄し、HSK 認定書 (成績報告書) も発行する。

HSK の当初の試験は毎年一回のみ実施され、試験実施会場は北京語言学院に限られたが、現在は中国国内だけではなく、世界各国で実施されている。

HSK 試験が、中国国外で増加しつつある中国語の学習者の中国語検定試験への要望に応えられるよう、2009 年 11 月から「新中国語能力検定試験」(新 HSK) システムを導入し、同時に筆記試験がインターネットを利用するネット (IBT) 試験に移行した。

新 HSK ネット試験の内容はペーパー試験と全く同様であるが、その利点はインターネットを利

用でき、年間試験の回数が4回から8回(2013年)、さらに2014年から年間12回までに増加し、中国語の学習者がHSKを受けやすくできる環境が整った。

二. HSK ネット試験の級

HSK ネット試験の級の種類としては6級・5級・4級・3級・2級・1級が設定されており、六級が最高のランクである。この節では、大学受験生の一番多い級の3級と4級について、詳しく説明し、他の級の説明を割愛する。

1. HSK 試験3級

HSK 3級は中国語の応用力を確かめるものであり、「国際汉语能力標準」3級、「ヨーロッパ共通参考標準(CEF)」B1級のレベルに相当する。HSK 3級に合格した受験生は中国語を使用し、生活、学習、仕事などにおける基本的なコミュニケーションを取ることができ、中国へ旅行に行く場合、ほとんどの場合は中国語でコミュニケーションを取ることにもできる。

1) 試験対象

HSK 3級は主に週に2～3時間のペースで中国語を1年半学習し、600個の常用語彙やそれに関連する文法力を持っている学習者を対象としている。

2) 試験内容

HSK 3級は合計80問、リスニング・読解・記述の3つのパートに分かれている。

	試験分類	試験内容	問題数		試験時間	満点
一	聴力（リスニング）	第一部分	10 問	35 問	約 35 分	100 点
		第二部分	10 問			
		第三部分	10 問			
		第四部分	10 問			
二	阅读（読解）	第一部分	10 問	25 問	25 分	100 点
		第二部分	10 問			
		第三部分	10 問			
三	书写（記述）	第一部分	5 問		15 分	
		第二部分	5 問			
受験番号&パスワード入力					10 分	
合計			80 問		約 85 分	300 点

試験時間は約90分間（受験生が個人情報を入力する時間を含む）

① 听力 (リスニング)

第一部分は合計10問。問題の音声は2回ずつ流れる。各問題は全て短いフレーズで、パソコン画面には数枚の絵や写真が用意される。受験者は問題の内容を聞いて絵や写真の内容と一致するかを判断する。

第二部分は合計10問。問題の音声は2回ずつ流れる。各問題はまず1人が話をし、もう1人がその話をもとに1つの文を言う。パソコン画面にはその文が書いてある。受験生は音声に基づき、

その文が正しいかを判断する。

第三部分は合計 10 問。問題の音声は 2 回ずつ流れる。各問題は 2 人による短い会話で、第三者が会話の内容についての質問を 1 つする。パソコン画面にはその質問に対する回答が 3 つ書いてあり、受験生は質問の内容に最も合う回答を選択する。

第四部分は合計 10 問。問題の音声は 2 回ずつ流れる。各問題は 2 人によるやや長い会話で、第三者が会話の内容についての質問を 1 つする。パソコン画面にはその質問に対する回答が 3 つ書いており、受験生は質問の内容に最も合う回答を選択する。

② 阅读（読解）

第一部分は合計 10 問。20 の文が提示され、相互にペアとなる文を選択する。

第二部分は合計 10 問。各問題には 1 つあるいは 2 つの文が提示され、文中に空所が 1 つあり、選択肢の中から最も適切な語句を選び、空所を補充する。

第三部分は合計 10 問。各問題には 1 つの文と 1 つの質問があり、3 肢選択の中から最も適切なものを選択する。

③ 书写（記述）

第一部分は合計 5 問。各問題には中国語の単語が用意されており、語順を並べ替えて正しい文を作る。

第二部分は合計 5 問。各問題の文の中には空所が 1 つあり、ピンインが書いてある。前後の文脈に合う漢字を入力する。

3) 成績について

HSK 3 級の成績はリスニング、読解、記述の 3 つのパートに分かれていて、それぞれは 100 点満点で、合計得点が 180 点に達したら、試験合格となる。

HSK 3 級の成績認定書は長期有効である。中国の大学に留学する場合、中国語能力検定証書として認められ、試験後 2 年間有効である（試験日から数える）。

2. HSK 試験 4 級

HSK 4 級は、受験生の中国語の応用力を確かめるものであり、「国际汉语能力标准」4 級、「ヨーロッパ言語共通参考標準 (CEF)」B 2 級のレベルに相当する。HSK 4 級に合格した受験生は、中国語で広い範囲にわたる話題についてのコミュニケーションを取ることができ、中国語を母国語とする人と比較的にスムーズに交流できる。

1) 試験対象

HSK 4 級は主に週に 2 ～ 4 時間のペースで中国語を 2 年間学習し、1,200 個の常用語彙を習得した学習者を対象としている。

2) 試験内容

HSK 4 級は合計 100 問、リスニング・筆記・記述の 3 つのパートに分かれている。

① 听力（リスニング）

第一部分は合計 10 問。問題の音声は 1 回流れる。各問題は 1 人が短い話をし、もう 1 人がそれについて 1 つの文を言う。その文はパソコン画面に書かれている。受験者はその文が正しいかどうかを判断する。

第二部分は合計 15 問。問題の音声は 1 回流れる。各問題は 2 人による会話で、第三者が会話の

	試験分類	試験内容	問題数		試験時間	満点
一	聴力（リスニング）	第一部分	10 問	45 問	約 30 分	100 点
		第二部分	10 問			
		第三部分	10 問			
		第四部分	10 問			
二	阅读（読解）	第一部分	10 問	40 問	35 分	100 点
		第二部分	10 問			
		第三部分	10 問			
三	书写（記述）	第一部分	5 問	15 問	25 分	100 点
		第二部分	5 問			
受験番号&パスワード入力					10 分	
合計			100 問		約 100 分	300 点

試験時間は約 105 分間(受験生が個人情報を入力する時間を含む)

内容についての質問を 1 つする。パソコン画面にはその質問の回答として 4 肢選択が用意されている。受験生は質問に最も合う回答を選択する。

第三部分は合計 20 問。問題の音声は 1 回流れる。各問題は 4 ～ 5 個の文による会話あるいは短い話で、その内容について 1 つまたは 2 つの質問が出る。パソコン画面には質問の回答として 4 肢選択が用意されており、受験生は質問に最も合う回答を選択する。

② 阅读（読解）

第一部分は合計 10 問。各問題には 1 つか 2 つの文があり、文の中に空所が 1 つある。受験生は用意されている選択肢から、適切なものを 1 つ選んで空所を補充する。

第二部分は合計 10 問。各問題には 3 つの文があり、文の内容に基づき、与えられた 3 つの文を正しい語順に並べ替える。

第三部分は合計 20 問。各問題には 1 つの文と 1 つまたは 2 つの質問があり、受験者は 4 肢選択から正しい回答を選択する。

③ 书写（記述）

第一部分は合計 10 問。各問題にはいくつかの中国語の単語が用意されている。その単語を使用し、正しい中国語の文を作る。

第二部分は合計 5 問。各問題には一枚の絵または写真と 1 つの単語があり、受験生は与えられた単語を使用し、絵または写真の内容を 1 つの文で表現する。

3) 成績について

HSK 4 級の成績はリスニング、筆記、書写の得点 3 つのパートに分かれていて、それぞれは 100 満点で、合計得点が 180 点に達したら、試験合格となる。

HSK 4 級の成績は長期間有効である。中国の大学に留学する場合、中国語能力認定書として認められ、試験後 2 年間有効である（試験日から数える）。

三．HSK ネット試験システムについて

HSK ネット試験システムは、申し込みシステム、受験料入金管理システム、試験管理システム、本番試験システム、試験監視システム及び模擬試験システムからなる。この節では本番試験システムと模擬試験システムについて、詳しく紹介する。

1．HSK ネット試験申込システム

HSK ネット試験の申込はすべてインターネットで行う。

受験生は中国側の「漢語考試服務網」サイトと日本側の「日建学院 HSK」サイトのどちらからでも申し込むことができる。

中国側 URL：http://www.chinesetest.cn/goliuchengtu.do



日本側 URL：

http://www.ksknet.co.jp/nikken/guidance/hsk/about/info.aspx



日建学院 あなたの「夢」応援します

中国語能力 HSK ネット試験

HSKは中国政府が公認した世界共通基準の中国語資格です。

★ 中国との取引がある企業への就職に無条件有利！ ★

ネット試験の利点！

全国各地の日建学院で受験が可能！★ 年に9回の試験開催の為、効果測定が図りやすい！

受験申込は試験日の10日前まで受付OK！★ インターネットでも簡単申し込み！

環境にも配慮されたペーパーレス試験！★ ヘッドホンの利用でリスニングの集中力がアップ！

中国語能力（HSK）ネット試験は、従来通り行われている紙ベース試験と同じ「中国政府公認」で、パソコンを使用した「現代社会」に適したペーパーレス試験です。

従来の筆記ではなく、キーボードへの打音（ピンイン）の正確な入力力が求められます。

世界では注目されていますが、ここ日本では、日建学院が国内初開催で実施協力をしております。

リスニング含む「聴き取り」も新たに開催致しました。

まずは、ご自身のレベルに応じた漢語検定レベルチェックの上、本試験に臨んで下さい。

HSKネット試験事務局 TEL：03-3986-2621 Mail：hsk_jimukyoku@mx1.ksknet.co.jp

受験申込

下記ボタンより申し込み下さい。

▶ お申込み

受験料

1級	2級	3級	4級	5級	6級
3,500円（税込）	4,500円（税込）	5,000円（税込）	6,000円（税込）	7,500円（税込）	8,500円（税込）

※試験日程で随時日時を随時の上、お申込み下さい。お支払いはクレジットカードもしくはコンビニ支払いで、申込手続き完了後にその都度メールが届きます。

2. HSK ネット試験管理システム

受験生の申し込み情報を試験管理システムに登録、受験生情報の確認、受験料入金及び試験会場の手配などの管理を行う。

3. 受験料支払と入金管理システム

中国のサイトまたは日本のサイトから申し込みをしても、試験管理システムを通して、日建学院の入金管理システムに登録され、自動的に入金案内のメールが送られる。受験生は入金システムの案内によりクレジットカードで支払うか、コンビニで支払うか選択できる。

入金完了の確認が出来ると、受験生本人に、受験情報、試験会場の最終確認と模擬試験練習情報の送付などを行う。

4. HSK ネット試験システム

1) 受験生番号とパスワードの入力

本番試験の場合、級別を問わず、最初の入力画面は以下の通りになる。

受験生番号とパスワードを入力して、試験開始を押す。

受験生の個人情報と受験情報が表示され、本人確認をする。

間違いなければ、試験開始ボタンを押し本番試験が開始される。

中国語能力試験へようこそ (HSK)

写真	証明書番号	211201067130
	フルネーム	日建 一太郎
	国籍	日本
	性別	男
	年齢	19
試験レベル		HSK一級

試験開始
开始考试

ヘルプ
系统使用帮助

試験開始を押す

2) リスニング画面

HSK ネット試験各級の第一部はすべてリスニングの問題である。

リスニング問題はすべてマウスを押して、選択する問題である。

次にリスニング問題の一部を例として挙げる。

HSK三级

听力

时间约35分钟, 4部分, 40题。

第1 - 5题:

第1部分

- 第1题
- 第2题
- 第3题
- 第4题
- 第5题
- 第6题
- 第7题
- 第8题
- 第9题
- 第10题
- 第11题
- 第12题

第2部分

第3部分

第4部分

第5部分

第6部分

第7部分

第8部分

第9部分

第10部分

第11部分

第12部分

第13部分

第14部分

第15部分

第16部分

第17部分

第18部分

第19部分

第20部分

第21部分

第22部分

第23部分

第24部分

第25部分

第26部分

第27部分

第28部分

第29部分

第30部分

第31部分

第32部分

第33部分

第34部分

第35部分

第36部分

第37部分

第38部分

第39部分

第40部分

第41部分

第42部分

第43部分

第44部分

第45部分

第46部分

第47部分

第48部分

第49部分

第50部分

第51部分

第52部分

第53部分

第54部分

第55部分

第56部分

第57部分

第58部分

第59部分

第60部分

第61部分

第62部分

第63部分

第64部分

第65部分

第66部分

第67部分

第68部分

第69部分

第70部分

第71部分

第72部分

第73部分

第74部分

第75部分

第76部分

第77部分

第78部分

第79部分

第80部分

第81部分

第82部分

第83部分

第84部分

第85部分

第86部分

第87部分

第88部分

第89部分

第90部分

第91部分

第92部分

第93部分

第94部分

第95部分

第96部分

第97部分

第98部分

第99部分

第100部分

3級のリスニング問題。会話の内容を聞いて、5つの絵から正しい回答を選択する。

3) 読解問題画面



HSK ネット試験の級別を問わず読解問題がある。出された文章を読んで、正しい回答を選択する。

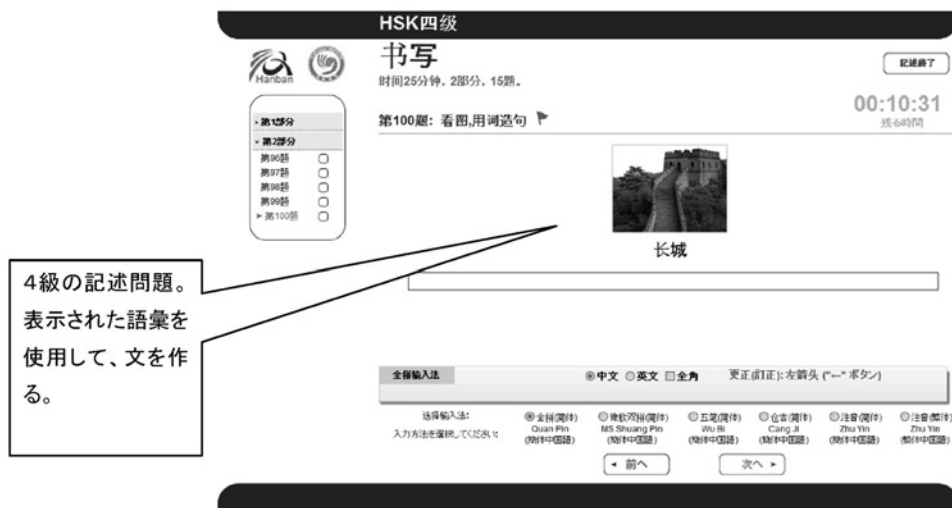
全て、マウスによる選択問題である。

4) 記述画面

HSK 3 級の記述問題画面



HSK 4 級の記述問題画面（HSK 4 級のリスニングと読解画面は省略）



HSK ネット試験は 3 級以上の場合、記述問題が出される。記述問題はすべて中国語文字のピンイン入力となる。（ピンイン入力の苦手な受験生が事前希望した場合は、回答用紙（記述問題専用）を配布し、筆記で回答してもらうことも可能である）

4. 模擬試験システム



HSK ネット試験の模擬試験システムは本番試験システムと同様な環境である。受験生は模擬試験用 ID とパスワードをもらえば、自宅で練習ができる。

教師は生徒のレベルにより、模擬試験用 ID とパスワードを作って渡したり、模擬試験の成績をチェックしたりして、生徒達の学習進み具合は把握ができる。

1) 模擬試験練習



中国語オンライン試験



中国語オンライン試験へようこそ!!
欢迎参加在线汉语水平测试!

受験生ログイン

受験生コード (考生代码):

パスワード (考试密码):

試験開始
开始考试

システムのテストと起動

模擬試験用の ID とパスワードを入力する
本番試験と同じように問題の練習ができる。

模擬試験の問題集を一回で最後まで完成したら、「実行済」となるので、二度とこの問題の練習はできなくなる。もう一度練習したい場合は、別の ID とパスワードで練習ができる。

模擬試験の練習問題を途中でやめると新たに立ち上げた時には継続して練習ができる。

2) 模擬試験の採点に関して

- ① 模擬試験システム自動採点
- ② 記述問題と作文問題を先生からの採点となる。



温哥华BCIT孔子学院
在线练习和模拟系统



返回首页 退出系统

练习管理
生成学生账号
学生账号列表

教师评分
按学生评分
按题目评分
学生评分情况
未评分题目 0
未评分题目 0

学生模拟和测试成绩报告
查看成绩报告

系统使用说明书
点击立即下载

生徒の練習問題を採点する

生徒の成績チェック

— 76 —

HSK ネット（汉语水平考试Hanyu Shuiping Kaoshi (IBT)) 試験について

[返回首页](#) [退出系统](#)

[首页](#) > 按学生评分

搜索条件:
 测试类型:
 测试级别:
 测试版本:
 请选择测试日期: 开始: 至:
 搜索: (学生姓名,测试版本等等)

学生名单:

	Student ID	Last Name	First Name	Listening	Reading	Writing	Speaking	Total	Test Name	Test Time
详细	C1S1351R4108	example	example	20 (1/5)	40 (2/5)			60	HSK练习 (一级) 精简版 版本A	9/28/2011 1:20:53 PM

「詳細」を押して、各問題の答案を見る

選択肢問題模擬試験システム自動的に採点される

考试编号: HSK729
 考生姓名: example example
 考试名称: HSK练习 (一级) 精简版 版本A
 考试日期: 9/28/2011 1:20:53 PM

考试答题结果: All Questions ◎ 显示所有题目 ◎ 只显示需要评分的题目

Skills	Section	Question ID	Answer Status	User Answer	Score		
听力	A		Sample			查看	复位
听力	A	1	Skipped		Incorrect (0/1)	查看	复位
听力	B		Sample			查看	复位
听力	B	2	Answered	B	Correct (1/1)	查看	复位
听力	C		Sample			查看	复位
听力	C	3	Answered	D	Incorrect (0/1)	查看	复位
听力	C	4	Answered	B	Incorrect (0/1)	查看	复位

Question

老师 画好了 很快地 熊猫的耳朵

Student Answer

Grading

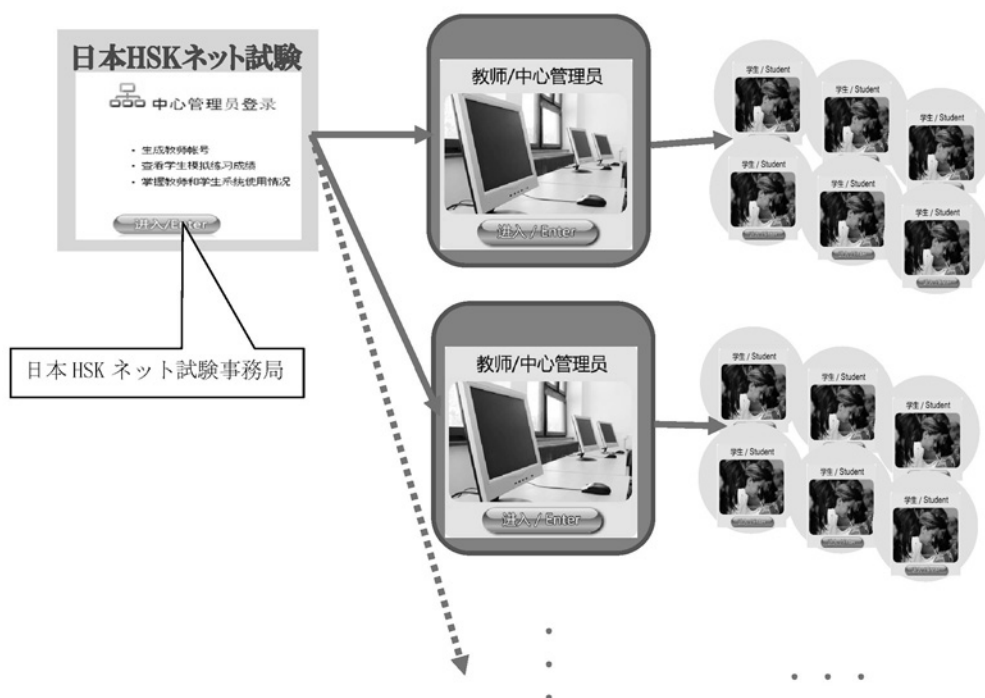
Score: of 1

Comment:

记述問題を先生から採点する

先生からのコメント記入欄がある

3) 模擬試験システムの管理構成



四. 中国語検定と HSK ネット試験の相違

最後に中国語検定と HSK ネット試験の相違について簡単に説明する。中国語検定は日本中国語検定協会が主催する検定試験の通称であり、略称は中検である。日本国内において中国語能力を図る指標として、使われることが多い。しかし、この資格の適用地域は日本国内のみで、国際的な知名度が低い。これに対して HSK は冒頭に述べた通りに中国国家漢語水平考試委員会(教育部)が主催し、中国政府公認の公的資格である。また世界共通基準の検定試験なので、世界各国において、中国語力の証明として通用する。また当委員会が発行した中国語能力認定書は中国に留学、就職の際に必要な認定書であり、また、国際的に公的に認められる認定書でもある。今現在 HSK は日本国内で大学編入、就職や昇進に有利な資格であり、企業でも続々採用される。級の種類について、中国語検定は HSK と異なり、級の数字が高ければ、ランクが低いことに対して、HSK は級の数字が高ければ、ランクも高いところにある。検定内容の相違が下記の対照表による。

中国語検定と HSK ネット試験の対照表

中国語 検定試験		HSK 試験	
準 4 級	中国語学習の準備完了 学習を進めていく上での基礎的知識を身につけていること。学習時間 60～120 時間。大学の第二外国語における第一年度前期修了、高等学校における第一年度通年履修、中国語専門学校・講習会等において半年以上の学習程度。 基本語彙約 500 語（簡体字を正しく書けること）、ピンイン（表音ローマ字）の読み方と綴り方、単文の基本文型、簡単な日常挨拶語約 50～80 が習得できる。	1 級	基本的な発音や関連知識の習得 非常に簡単な日常用語やセンテンスを理解し、簡単なコミュニケーションを取ることができる。 学習時間は主に週に 2～4 時間のペースで中国語を半年間学習し、150 個の最も常用される語彙やそれに関連する文法を習得した学習者を対象としている。
		2 級	基礎的文法知識の習得 自分の熟知している日常の話題について簡単かつ速やかにやりとりができる。 HSK 2 級は主に週に 2～4 時間のペースで中国語を一年間学習し、300 個の最も常用される語彙やそれに関連する文法を習得した学習者を対象としている。
4 級	中国語の基礎をマスター 平易な中国語を聞き、話すことができること。 （学習時間 120～200 時間。大学の第二外国語における第一年度履修程度。） 語彙の意味の理解、漢字のピンイン（表音ローマ字）への表記変換、ピンインの漢字への表記変換、常用語 500～1,000 による中国語短文の日本語訳と日本語の中国語訳ができる。	3 級	中国語で生活、学習、仕事などにおける基本的なコミュニケーションを取ることができる 中国語を使用し、生活、学習、仕事などにおける基本的な日常的コミュニケーションを取ることができ、中国へ旅行する際に、ほとんどの場合中国語で対応することができる。 HSK 3 級は主に週に 2～3 時間のペースで中国語を 1 年半学習し、600 個の基礎常用語彙やそれに関連する文法を習得した学習者を対象としている。
3 級	自力で応用力を養う能力の保証（一般的事項のマスター） 基本的な文章を読み、書くことができること、簡単な日常会話ができること。（学習時間 200～300 時間。大学の第二外国語における第二年度履修程度。） 語彙の意味の理解、漢字のピンイン（表音ローマ字）への表記変換、ピンインの漢字への表記変換、常用語 1,000～2,000 による中国語複文の日本語訳と日本語の中国語訳ができる。		中国語を使って広い範囲にわたる話題についてコミュニケーションができる 中国語を使用し、広い範囲にわたる話題についてコミュニケーションができ、中国語を母国語とする人と比較的スムーズに交流できる。 HSK 4 級は主に週に 2～4 時間のペースで中国語を 2 年間学習し、1,200 個の常用語彙を習得した学習者を対象としている。
2 級	実務能力の基礎づくり完成の保証 複文を含むやや高度の中国語の文章を読み、3 級程度の文章を書くことができること。 日常的な話題での会話が行えること。 単語・熟語・慣用語の日本語訳・中国語訳、多音語・轻声の問題、語句の用法の誤り指摘、100～300 字程度の文章の日本語訳・中国語訳ができる。	4 級	中国語の新聞や雑誌が閲覧し、映画やテレビ番組を鑑賞できる 中国語の新聞や雑誌が読め、映画やテレビ番組を楽しむことができ、中国語を使用し、完全なスピーチができる。 HSK 5 級は主に週に 2～4 時間のペースで中国語を 2 年以上学習し、2,500 個の常用単語を習得した学習者を対象としている。
準 1 級	実務に即従事しうる能力の保証（全般的事項のマスター） 社会生活に必要な中国語を基本的に習得し、通常の文章の中国語訳・日本語訳、簡単な通訳ができること。 新聞・雑誌・文学作品・実用文等やや難度の高い文章の日本語訳・中国語訳。	5 級	
1 級	高いレベルで中国語を駆使しうる能力の保証 高度な読解力・表現力を有し、複雑な中国語及び日本語（例えば挨拶・講演・会議・会談など）の翻訳・通訳ができること。 （1 次）時事用語も含む難易度の高い文章の日本語訳・中国語訳。熟語・慣用語等を含む総合問題ができる。 （2 次）中国人との会話及び通訳ができる。	6 級	中国語の音声情報や文字情報を不自由なく理解できる 中国語の音声情報や文字情報を不自由なく理解でき、中国語を使用し、自らの意見をスムーズに表現できる。 HSK 6 級は、主に 5,000 語以上の常用単語を習得した学習者を対象としている。

上記の対照表に、中国語検定と HSK 試験の対照一覧表に各級に対する学習時間数、単語数及び学習ポイントを纏めた。中国語検定は基礎的な言語教育を重視していることに対し、HSK 試験は実務的な応用力及びコミュニケーション力を重視する。